

まちを見つめ
市民とともに歩む

由利本荘市 議会だより

第41号 平成27年/2015年8月1日発行



～公益社団法人発明協会主催 第37回未来の科学の夢絵画展入選作品～ 国立科学博物館長賞 画題「心のじゅう電器」 岡本結姫さん(小友小5年)

CONTENTS 2015 AUGUST

平成27年 第2回市議会定例会(6月)

- P02 6月定例会の概要
- P04 委員会審査報告
- P08 第2回臨時会(5月)・議会の動き
- P09 一般質問・議長交際費
- P12 永年勤続議員表彰
市民の声・表紙説明・編集後記



優秀賞
画題「土しゃさいがいから町をまもるビートルクリーナー」
安部前咲さん(小友小3年)



優秀賞
画題「災害時に大活やくするかさ」
三浦立さん(新山小6年)

表紙説明



★画題「心のじゅう電器」

おかもと ゆうき
岡本 結姫さん(小友小5年)

心のつかれや悲しさを色でしんでんしてくれます。せん用のクレヨンで色をぬると、色に合わせて心がなごやかになったりあたたかくなったりします。



★画題「災害時に大活やくするかさ」

みづら りゅう
三浦 立さん(新山小6年)

土しゃ災害や台風、たつまき、そして火災などが起きたときに、かさの周りにバリアーができて自分の身を守ることができるかさです。



★画題「土しゃさいがいから町をまもるビートルクリーナー」

あんぼ ぜんさく
安部 前咲さん(小友小3年)

人がそうじゅうする、かぶと虫がたのロボットです。土しゃさいがいがおきたときに出どうし、にじ色のパワーでひがいにあったところをなおしていきます。

市民の声



地域おこしに思うこと

由利地域 板垣 武司さん

由利地域では新しい集落、ゆりが丘が来年で20年を迎えます。新興住宅地で何もとりえのない、ただ、新しい集落でした。なにか地域おこしになればと役員で相談し、3年前、ピザ石窯の設置を支所振興課に相談、市の助成をいただき完成することができました。

また、地域おこし協力隊の指導もいただき、生地から作るピザ作りから始まりました。加えて、市のフットパス「由利前郷コース」に組み入れていただき、コースの最後には当会館にてピザ作りを楽しんでいただいております。

今まで2回のフットパスで80人余りの参加をいただきました。ことしも秋の実施予定ですが、今後も地域おこしでささやかながら我々の手で何が出来るか、メンバーと共に次につながる何かを模索したいと思います。

本市もこの先少子高齢化が進み、25年後には5万6千人規模とのこと。消滅する市町村の仲間入りにならないよう、人事と思わずに地域で考え、合わせてどんな災害が起きるかかわからない昨今、我々も頑張りますが、この由利本荘市のさらなる住み良いまちづくりと市の発展のため、議員各位の御活躍を期待します。



永年勤続議員表彰

佐藤 勇議員
在職15年以上



高橋 和子議員
在職10年以上

第91回全国市議会議長会定期総会が、6月17日に東京都内で開催され、席上、本市の議員2人が永年にわたる市議会議員としての功績が認められ、全国市議会議長会から表彰されました。

市議会からのお願い

市議会では、飲食を伴う会合には案内状に会費を明記していただくように申し合わせております。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



編集後記

今年最初の議会報に「議員今年の漢字一文字」と題し、全議員の今年の漢字を掲載しました。私は「整」。

様々な事件事故が後を絶たず、何かぎくしゃくしている昨今、今一度ちゃんとしてようよ、との思いからです。

早いもので今年も8月、後半戦に突入しました。整えられているのかなあ…と自問自答の日々ですが、先日、整理整頓についてお話を伺う機会がありました。整理は必要なものといらないものを分け、いらぬものを捨てる。整頓は必要なのをいつでも取り出せるようにすること。

なるほど。行政におけるスクラップアンドビルドとも似ています。

本市も合併10年、多くの課題がある中、総合戦略を策定します。英知を集め、きっちり整えなければなりません。

(湊 貴信)

議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 勇
副委員長 伊藤 三

渡部 隆 野藤 英 岩 秀 貴
一 元 夫 雄 徹 信

年4回発行/印刷所 由利印刷



発行/由利本荘市議会
編集/議会報編集特別委員会
〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地 電話/0184-24-6386 FAX/0184-27-1793
ホームページ <http://www.city.yurihonjo.akita.jp> 由利本荘市議会 検索

次号(第42号)は、12月1日発行予定です

7月1日
から施行

市民の生命、身体、財産の保護と生活環境の保全のため

空家等の適正管理に関する条例を制定

由利本荘市の状況はどうか？

本市の空家率は11.5%であり、全国平均値の13.5%、秋田県平均値の12.7%を下回っていますが、現在、本市には放置すれば保安上危険、または衛生上有害となるおそれのある空家などが約60軒あると推測され、今後、高齢者世帯の増加で空家率の上昇が予想されています。



条例の要旨
適正に管理がされていない空家などは、犯罪や放火の誘発、建物の倒壊や建物に使用されている資材の飛散の危険性、敷地内の雑草繁茂や害虫発生など、周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。このため、市民の生命、身体、財産を保護することも、その生活環境の保全を目的に、条例を制定したものです。

人事案件

- 教育委員会委員
再任 齋藤 眞紀 氏(石脇)
- 小友財産区管理委員
再任 岡本 善広 氏(二十六木)
再任 藤井 勇三 氏(金山)
再任 小松 直 氏(北ノ股)
新任 小松 徳夫 氏(万願寺)
新任 木島 洋吉 氏(万願寺)
新任 阿部 清 氏(三糸)
新任 伊藤 孝志 氏(館前)

6月定例会は5月29日から6月19日までの22日間の会期で開かれました。
市提出案件は、30件で、人事案件、条例関係、契約締結、平成27年度補正予算などを審議し、原案のとおり、同意、可決したほか、請願1件を継続審査、継続審査中の2件を含む5件の陳情のうち、

1件を採択、2件を趣旨採択、2件を不採択としました。また、委員会発案(意見書の提出) 1件を原案のとおり可決しました。
一般質問では2日間にわたり5人の議員が、地方創生、農業問題、教育行政、福祉など多方面について質問しました。

6月定例会で審議した請願・陳情の結果は次のとおりです

また、委員会発案の「意見書」が原案のとおり可決され、関係機関に送付されています。



『長寿祝金条例』一部改正



平成28年4月1日から、100歳、95歳、90歳に支給していた長寿祝金を、100歳と88歳とし、100歳は10万円、88歳は1万円と改正するものです。ただし、経過措置として、平成28年度に限り、4月1日現在で満88歳、89歳の方にも1万円を支給します。

これまでは…	改正後は
100歳 30万円	100歳 10万円
95歳 5万円	95歳 —
90歳 3万円	90歳 —
	88歳 1万円

高齢化が進み、対象者が年々増加し、平成18年度に比べ平成25年度では支給総額が約1千万円余り増えました。この改正により平成29年度は、平成18年度とほぼ同額の1300万円となる見込みです。

総合防災公園整備 特別委員会を設置

現在、総合防災公園の整備が進んでいます。議会はこれまで、国跡地地活用特別委員会を設置し、総合防災公園整備事業の調査・審査を行ってきましたが、当該事業の実施設計業務内容の了承をもって、5月臨時会で当該特別委員会の廃止を決めました。
また、6月定例会で、新たに総合防災公園整備特別委員会を設置し、今後、総合防災公園整備事業の完了まで、事業のハード・ソフト両面について、引き続き集中的な調査・審査を行ってまいります。

- 委員長 渡部 聖一 (高志会)
- 副委員長 大関 嘉一 (創風)
- 委員 伊藤 岩夫 (公明党)
- 今野 英元 (社会民主党)
- 佐々木 隆一 (日本共産党)
- 吉野 朋子 (市民クラブ)
- 高野 吉孝 (創風)
- 高橋 信雄 (高志会)
- 高沼 久利 (高志会)

一般会計補正予算

6億1355万1千円を追加 総額 **471億8918万7千円**

文化交流館カダーレ第二駐車場整備事業 市役所本庁舎東側を駐車場として整備するもの 7940万円	由利総合支所整備事業 老朽化した由利総合支所を改築するもの 3953万2千円	公文書収蔵対策事業 公文書収蔵のため、岩城総合支所の旧議場を整備するもの 1450万円
--	---	--

議案の表決結果一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。ほかは全て全会一致で可決されました。
※鈴木議長は、表決に加わりません。 ※社民党:社会民主党 共産党:日本共産党

議案	高志会										創風				市民クラブ			公明党	社民党	共産党	無所属	無所属	表決数		議決結果			
	伊藤順男	佐藤賢一	高橋信雄	渡部聖一	湊貴信	土田与七郎	村上亨	高橋和子	長沼久利	梶原良平	大関嘉一	佐藤譲司	渡部専一	高野吉孝	渡部功	佐々木慶治	佐藤勇	吉田朋子	井島市太郎	佐藤徹	三浦晃	伊藤岩夫	今野英元	佐々木隆一		三浦秀雄	鈴木和夫	賛成
陳情第5号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	23	不採択
陳情第6号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	—	2	23	不採択

○:賛成 ×:反対

採択

◆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る意見書提出についての陳情(陳情第7号)
秋田県教職員組合 執行委員長 山縣稔
秋田県教職員組合本荘由利支部 支部長 三浦春道

趣旨採択

◆労働法制の改善に反対し安定した雇用の実現を求める意見書提出についての陳情(継続審査中の平成26年陳情第13号)
秋田県労働組合総連合 議長 星野博之

継続審査

◆鳥海ダム事業に関して、改正環境影響評価法に則った戦略的環境アセスメント(SEA)の実施を求める意見書提出についての請願(請願第1号)
紹介議員 今野英元
鳥海ダム事業に「戦略的環境アセスメント(SEA)」の実施を求める会
世話人 東海林郁子

不採択

◆集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書提出についての陳情(陳情第5号)
秋田・戦争をさせない1000人委員会
代表 山縣稔

◆沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める意見書提出についての陳情(陳情第6号)
秋田・戦争をさせない1000人委員会
代表 山縣稔

総務 常任委員会

財産区の概要

Q. 市内に財産区はなぜあるのか。

A. 明治政府は明治22年4月1日に町村制を施行することとしたが、当時の町村は7万を超えており、独立して自治運営が行えない零細な町村が多かった。

政府は、「特別の財産」を有する部落の存在に配慮し、「合併町村にその財産を引き継ぐ協議がまとまらなかった場合は、旧町村の部落所有の財産をそのまま所有できることを可能にした。これにより財産区が誕生したが、明治43年「部落有林野整理統一事業」により多くの財産区が市町村に統一帰属された。

現在、財産区となっているのは、この事業で統一帰属されなかったものである。また、昭和28年からの町村合併促進法に基づく合併の際も特別な事情がある場合は、協議により財産区を設けることができるものとされており、現在に至っている。

Q. 財産区の運営や事務は誰が行ない、その数とそれぞれの基金はいくらあるのか。

A. 市には本荘地域の石脇、子吉、小友、石沢、松ヶ崎、北内越及び大内地域の大内北内越、合わせて7つの財産区があり、そのうち、財産区議会及び管理会があるのは本荘地域の石脇、子吉、小友、石沢の4財産区で、運営はそれぞれの財産区で行っている。平成27年5月末における基金額は、石脇財産区3億900万円、子吉財産区7800万円、小友財産区2100万円、石沢財産区5600万円となっている。

災害に万全の備えを

Q. 内陸部同報系防災行政無線設備改良工事請負契約額4億5360万円で随意契約となった理由は。

A. 同報系防災行政無線設備は、現在、機器メーカーである東芝の独自技術で稼働させているため、改造や新設を発注先の業者は、既存の機器と互換性をもつ機器を扱えることが要件となる。そのため、「県内で東芝製機器の唯一の工事代理店である有電社秋田営業所」と随意契約した。

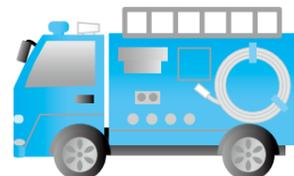


Q. 消防自動車の小型動力ポンプ付積載車と小型動力ポンプ積載車購入契約について、車両の違いと配備先は。

A. 小型動力ポンプ付積載車は、ポンプ装置が車両に組み込まれているもので、3台購入し由利地域の吉沢と黒沢、東由利地域の蔵にそれぞれ配備する。

また、小型動力ポンプ積載車は、ポンプ装置を容易に積み降ろしできる車両で、3台購入し本荘地域の本田仲、宮内、土谷に配備する。

なお、本荘地域は住宅街など狭い場所が多く、ポンプ装置を車両から降ろして使用できる方が効率的とされている。



市民の利便性を考えた庁舎建設

Q. 改築される由利総合支所はどのような特徴の庁舎か。

A. 建物の配置、バリアフリー化、窓口のワンフロア化で市民の利便性も図った。また、建築材に市の産材を利用、ペレットストーブの普及や活用を取り込むほか、窓の面積を大きくするなど自然を利用した空調管理や、陸屋根により降雪を少なくし除排雪の軽減を図るなど、機能的で利便性の高い特徴を備えた庁舎である。

教育民生 常任委員会

中田代ソーラー発電 一般家庭250世帯相当分

Q. 大内地域中田代工業団地のソーラー発電について。

A. 株式会社男鹿興業社が行う事業で、平成27年5月より本格稼働した。発電所名は「インティ由利本荘ソーラー発電所」、年間発電量は約90万kwhであり、一般家庭の約250世帯分に相当する。
※インティ…インカ帝国の太陽神



インティ由利本荘ソーラー発電所

鳥海地域 民俗芸能伝承施設 平成29年3月 竣工を目指す

Q. 鳥海地域民俗芸能伝承拠点施設の概要は。

A. 本市唯一の国指定重要無形民俗文化財である「本海獅子舞番楽」を核とする施設である。150席の観覧席、普通車55台、大型バス2台の駐車場、衣装、諸道具の展示スペース、伝承資料などの保管のための耐火式収蔵庫を設置する。

インターバル速歩 生活習慣病の改善

Q. インターバル速歩とは。

A. 健康増進に効果的と言われているウォーキングだけでは筋力、持久力の向上が見込めないことが分かった。そこで開発されたのがインターバル速歩であり、1日15分、5カ月のトレーニングを行う。市では、公募で30人のモデルグループを組織し、生活習慣病の改善のためインターバル速歩の普及に努める。



鳥海山・飛鳥ジオパーク DVD制作

Q. 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想の推進策は。

A. ジオパーク構想の周知を図るためDVDの制作を行う。1本20分で3種類の番組を制作し、小中学校、ジオガイド養成講座、出前講座などで幅広く活用する。制作委託料は130万円。また、ジオパーク周知のためパネル、解説看板などを設置する。

生活保護 合併後最高

Q. 生活保護の状況は。

A. 平成27年5月末の生活保護世帯数、人数、保護率は次のとおりであるが、いずれも合併後最高数値となっている。

生活保護 被保護世帯及び人数等の状況

	平成27年5月末	平成26年5月末	増	減
世帯数	637	614	23	
人数	846	814	32	
保護率(%)	10.42	9.87	0.55	

※保護率
人口に対する生活保護人数
※パーミル(%)
千分の1を1とする単位

総務委員会の主な担当事項は…

財政・行革・防災・消防・政策・広報・地域振興 など

教育民生委員会の主な担当事項は…

市民生活・税務・健康福祉・教育・スポーツ・生涯学習 など

常任委員会とは…本市議会には、4つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属。各委員会では、それぞれが担当する事項の議案などを審査しています。